

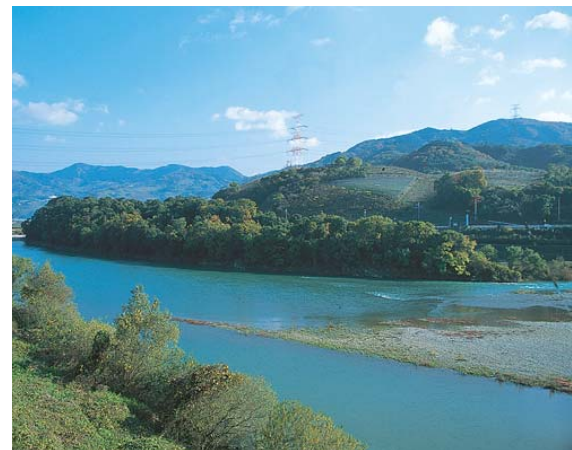
紀の川らしい環境を守るために

紀の川らしい景観を保全します

保全

紀の川は、昔から妹山・背山などその美しい景観が万葉集に多くうたわれてきました。また、紀の川周辺には多くの史跡や文化遺産があります。特に、慈尊院を含む高野・熊野は世界遺産に登録が予定されており、今後紀の川周辺には多くの人々が来ることが予測されます。

そのため、「紀の川史跡景観マップ（仮称）」や、紀の川の歴史や文化を知っていただけるような看板などを設置し、みなさんと一しょに紀の川の景観の保全・啓発を行っていきます。



船岡山ごしに妹山を望む（かつらぎ町）



根来寺（岩出町）



慈尊院（九度山町）

紀の川らしい河川環境の保全・再生を図ります

保全

紀の川の特徴的な生物の生息・生育の場となっている汽水域*、干潟*、ワンド*、たまり*、瀬*、淵*、ヨシ原などの河川環境にすむ動植物を定期的に調査し、保全・再生していきます。



ワンド



瀬と淵



ヨシ原



干潟



たまり

土砂が自然に移動するよう工夫します

課題

紀の川では、昭和30年代につくられた堰により土砂が堆積しており、本来の自然な土砂移動ができていません。

対策

堰の管理者（農林水産省）と岩出、藤崎、小田井堰の改築などについて話し合い、堰の上流にたまった土砂が自然に流れるようにします。また、土砂の移動の様子を観察していきます。



堰の上流に堆積している土砂（岩出井堰付近）

みなさんと一しょになって水質の改善を図ります

対策

紀の川下流（船戸）の水質は、昭和59年頃より悪い状況が続いてきました。平成14年には環境基準よりも良くなったものの引き続き水質の改善が必要です。そのためには、紀の川流域の行政機関などでつづっている「紀の川水質汚濁防止連絡協議会」で水質改善に向けた取り組みを行うとともに、みなさんのご協力をいただきながら紀の川の水質改善に取り組めます。

また、水質汚濁の著しい和歌山市内の河川については下水道整備など一しょになって水質を改善します。

魚が自由に移動しやすい紀の川をつくります

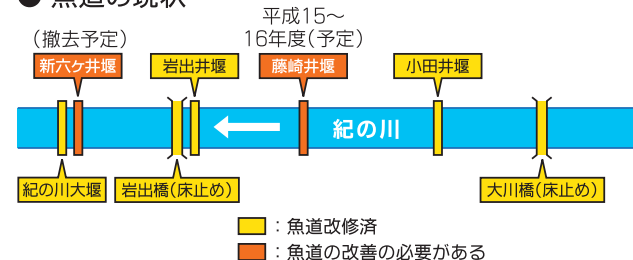
課題

平成6年に紀の川が「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」のモデル河川に指定され、魚の移動しにくい魚道*などの改善を行ってきましたが、現時点では、藤崎井堰の魚道の改築、新六ヶ井堰の撤去が残っています。

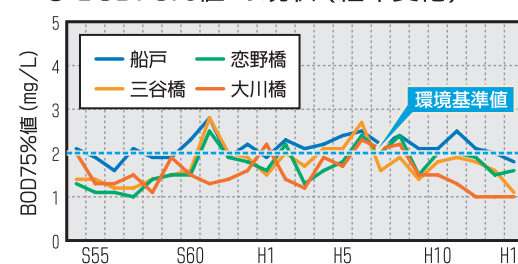
対策

堰の管理者（農林水産省）と協力しながら魚道の改築などを行い、魚が自由に移動しやすい紀の川をつくります。

● 魚道の現状



● BOD75%値*の現状（経年変化）



新設された紀の川大堰の魚道



改善の必要がある藤崎井堰の魚道

子どもたちに紀の川のことを伝えていきます

保全

紀の川の自然を守るためには紀の川のことをよく知ってもらうことが重要です。そのため、紀の川流域に関わる情報をみなさんに提供していきます。

また、五條市などにおいて「水辺の楽校」という水辺を利用した学習施設の整備を支援します。さらに、紀の川出前講座*を行い学校の総合学習などを支援していきます。



水とくらめき紀の川館（和歌山市）



水辺の楽校（五條市）